

ITC 浜松クラブ【ディベート】資料

2017年3月13日(月)

ディベートは議論するゲームです。

- ◇ ポジションの固定:肯定側と否定側に分かります。
- ◇ スピーチの形式は固定され、チームで行います。(下記フォーマット参照)
- ◇ 主題の固定:自分の主張を徐々に変える事はできません。最後まで主張を貫き通します。
- ◇ ジャッジがどちらのチームに説得力があったか、勝敗を決定するので、ジャッジを納得させる必要があります。(ディベートをしている相手チームではありません)

【論 題】 老後はマンション暮らしが快適である (フォーマット)			
肯定側立論	2分		
		質疑準備時間	1分
		否定側質疑	
肯定側応答			6分
		否定側立論	2分
質疑準備時間	1分		
肯定側質疑			
	6分	否定側応答	
作戦タイム	2分		
		否定側第1反駁	4分
肯定側第1反駁	4分		
作戦タイム	2分		
		否定側第2反駁	4分
肯定側第2反駁	4分		
		否定側最終弁論(要約)	2分
肯定側最終弁論(要約)	2分		

【論 題】

論題とは、ディベートの議題のことです。

「老後はマンション暮らしが快適である。」

【立 論】

肯定側の第1スピーカーは、①主要な立論(主張)をあげ、

②主張の正当性を納得させる根拠が必要です。③証拠資料の提示を行います。

根拠は何点かあり、それがどのように肯定(否定)につながるかを簡潔に述べるのが重要です。

主張や根拠は、相手に反証の機会を十分に与えるため、原則として立論で提示する。

立論で提示されなかった新しい主張・根拠を

反駁や最終弁論の中で提示しても無効です。

証拠資料引用:著者名, 著者の肩書, 文献名, 発行年月日を述べ、原文のまま引用(満たさない場合は、証拠資料がそれだけ信憑性の低いものと判断されます)

【質 疑】

相手の立論に対して、問題点・疑問点をあらかじめ予測して用意しておく

相手の立論(主張)に異論を唱える。あるいは解釈に反論する

質問された側はそれに応答する。質疑は、一問一答形式で行い、

時間管理の権利は質問する側にあり、質問する側の求めている発言を応答者が続ける場合には、質問者は応答をさえぎって次の質問に進むことができる。

【反 駁】

反対質疑の内容を反駁で反映する

反対質疑が優れていても、反駁で反映していなければ判定の対象とならない。

- ① 相手の質疑に対して答えられなかったことを改めて答える。
- ② 自説の矛盾をついた相手の質問に対し反論する。
- ③ 自分たちの立場の正当性を最確認する。
- ④ 相手の立論の矛盾を指摘する。

※相手の主張に対して批判的思考力をもって聴き、建設的な思考力で反論する。

議論の積み重ねが理論的思考力の育成に繋がる

【最終弁論 (要約)】

反駁を含めて、最終的に自分たちの倫理の正しさを整理して述べる。

相手側の倫理を否定し、自分たちの倫理の優位性を訴え判定を求める。

参考文献

マスターマニュアル

Web 資料参照

文責:鈴木三枝子